

長井市第三次男女共同参画基本計画

令和 6 年度進捗状況調査結果

令和 7 年 9 月

長井市

1 長井市の男女共同参画推進について

長井市は、平成18年3月に「長井市男女共同参画基本計画」（計画期間：平成18年度～平成25年度）、平成26年3月に「長井市第二次男女共同参画基本計画」（計画期間：平成26年度～令和5年度）、令和6年3月には「長井市第三次男女共同参画基本計画」（計画期間：令和6年度～令和10年度）を策定し、男女共同参画社会の実現を目指して取り組んできました。成果指標と目標値を設定し、達成度を客観的に評価することで、基本目標「誰もが個性と能力を發揮できるまち」を目指します。

2 進捗状況の評価について

実施計画の進行管理を目的として、年度ごとに成果指標の点検・評価を行っています。成果指標の進捗状況について、以下のとおり進捗率を表しています。実施計画の目標年次である令和10年度までに100%を目指します。

$$\text{進捗率} (\%) = \frac{\text{該当年度実績と基準値の差}}{\text{目標値と基準値の差}} \times 100$$

3 各成果指標の進捗状況

※進捗状況 ◎：好調（進捗率100%以上） ○：概ね順調（進捗率1~100%） △：停滞（進捗率0%以下）

成果指標1-①：男女共同参画の啓発に関する取り組みの推進

『男女共同参画に係る講座・イベント・パネル展等の実施（広域連携含む）』

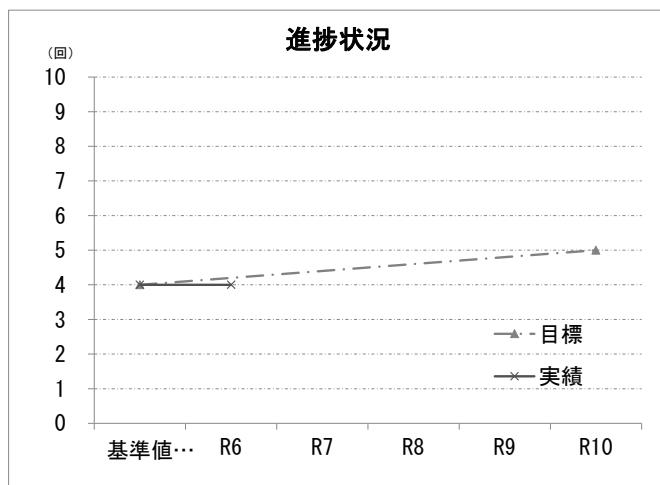
進捗状況：△

担当課：地域づくり推進課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10
目標						5
実績	4	4				
進捗率		0%				

■ R6年度の実施状況

- ①令和7年2月には男女共同参画に関する人権教室を長井北中学校で開催。
- ②令和6年6月の「男女共同参画週間」期間中に市役所1階市民交流ホールにて、パネル展、啓発DVDの放映、関連図書の紹介、男女共同参画アンケートを実施。
- ③令和6年11月の「女性に対する暴力をなくす週間」期間中には、各啓発物を掲示するとともに、職員がパープルリボンを着用し、意識啓発に取り組んだ。
- ④令和7年2月には男女共同参画に関する人権教室を長井北中学校で開催。



■ 課題

パネル展においては啓発物の展示や配布だけで終わらず、より多くの人に男女共同参画に関する意識高揚や興味関心を持ってもらえるような企画の工夫が必要。

■ R7年度以降の取組み

引き続き図書館と連携し、関連図書の紹介、くるんと内の各施設等と連携した企画の実施、幅広い対象者をターゲットとした講座・イベントの企画等、効果的な啓発活動を図りながら取り組んでいく。また、各コミュニティセンターとも連携し、地域での意識啓発を進めていく。

成果指標1-②：男女共同参画の啓発に関する取り組みの推進

『市報・ホームページ・SNS等による男女共同参画に関する情報発信』

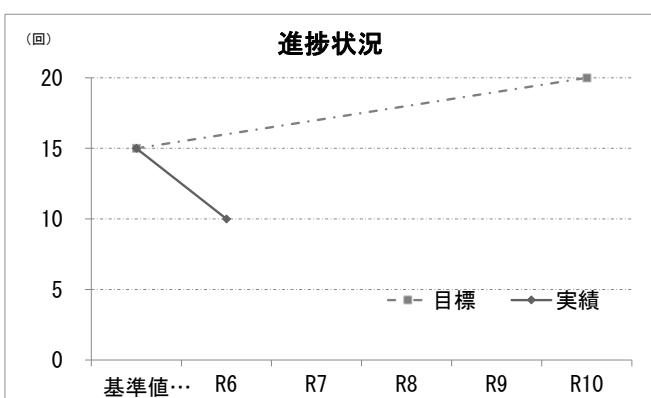
進捗状況：△

担当課：地域づくり推進課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10
目標						20
実績	15	10				
進捗率		-100%				

■ R6年度の実施状況

- 男女共同参画に関して、市報やHPを活用し、タイムリーな情報発信を心掛け実施した。
- ①男女共同参画週間にについて市報掲載（6月1日号市報）
- ②男女共同参画週間パネル展についてHP掲載
- ③「男女共同参画週間」キヤッチフレーズ募集についてHP掲載、2月1日号市報掲載
- ④「R6年度チエリア塾基本コースin置賜」についてHP掲載、市報掲載（6月1日号市報）
- ⑤「女性活躍推進法に基づく取組み」についてHP掲載（総務課）
- ⑥女性向けセミナー（置賜総合支所子ども課依頼）について市報掲載（9月1日号市報）
- ⑦第二次男女共同参画基本計画 後期実施計画 令和5年度実施状況（HP掲載）
- ⑧「やまがたスマイル企業認定制度」についてHP掲載
- ⑨DV防止講座（チエリア主催）について市報掲載（11月1日号市報掲載）
- ⑩「女性に対する暴力をなくす運動週間」について市報掲載（11月1日号）、HP掲載



■ 課題

イベントの開催周知が多くなる傾向にあるため、女性活躍の事例や企業の先進的な取り組みについて取り上げるなど、一般の方にも興味関心を持ってもらえるような記事の工夫が必要である。

■ R7年度以降の取組み

引き続きタイムリーな情報発信を心掛けるとともに、より男女共同参画に興味を持つてもらえるような内容とすることで市民の意識啓発を図る。

成果指標2：社会全体でジェンダー平等だと思う人の割合【見直し】

進捗状況：○

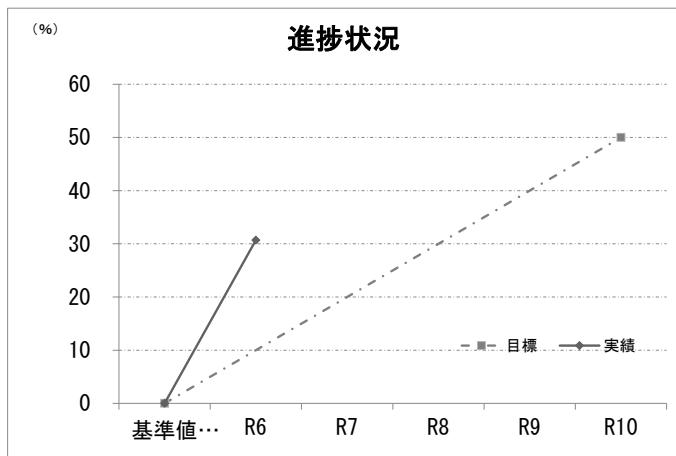
担当課：地域づくり推進課・総合政策課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(%)
目標							50
実績		30.7					
進捗率		61%					

データなし

■ R6年度の実施状況

『平等だと思う』が30.7%、『平等だと思わない』が51.2%と回答しており、過半数がジェンダー不平等を感じている結果となった。



■課題

特に不平等を感じる項目として「社会通念や慣習、しきたり」と回答した方が多く、地域において昔ながらの社会慣行や性別による役割分担意識が未だ根強く残っていることが分かる。男女共同参画に関する知識や理念が地域に浸透するよう、意識啓発を継続していく必要がある。

■ R7年度以降の取組み

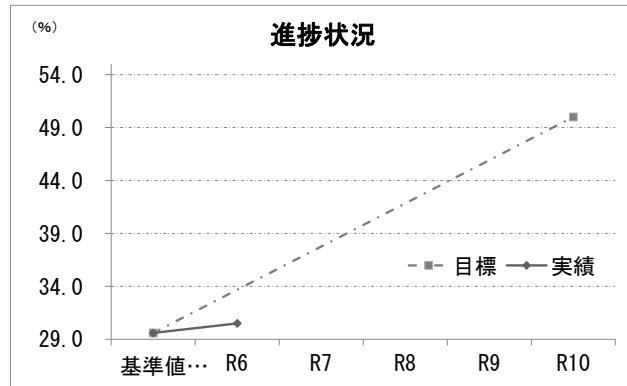
意識啓発のための広報や情報発信を継続して行う。また、各コミュニティセンターや図書館と連携してパネル展を実施し、アンケート等で男女共同参画社会実現に向けて地域のニーズや課題を把握する。

成果指標3：審議会等における女性委員の割合

進捗状況：○

担当課：地域づくり推進課・審議会を持つ全課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(%)
目標							50.0
実績	29.6	30.5					
進捗率		4%					



■課題

審議会の委員は個人ではなく関係団体の代表等が就任する場合が多く、組織の代表に女性が少ない現状においては、女性の割合が低い傾向となっている。

■ R7年度以降の取組み

令和7年度には再開予定の審議会があるため、女性委員の割合は増加する見込み。審議会所管課が委員選定の際に男性と女性のバランスについて配慮するよう課長主幹会議等で周知するなど、女性委員の登用を呼び掛けていく。また、単に組織の代表や有識者に就任を依頼するのみではなく、積極的な公募等による登用を呼びかけていく。

成果指標4：市職員の管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合 【見直し】

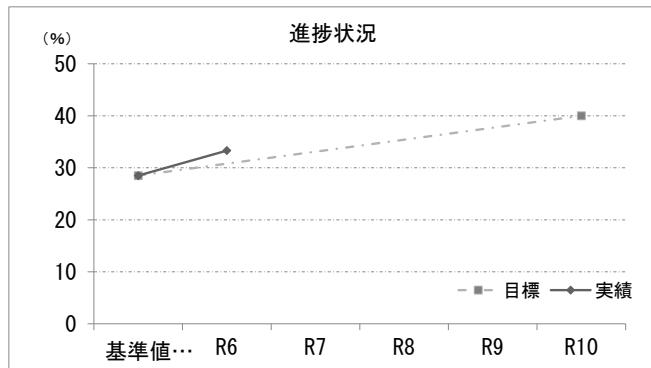
進捗状況：○

担当課：総務課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(%)
目標							40
実績	28.5	33.3					
進捗率		42%					

■ R 6 年度の実施状況

令和6年度における女性管理職の割合は、33名中11名であり、前年度比4.8%の増となっている。



■課題

女性職員が働きやすい職場環境を整えることで、管理職としての責務とモチベーションの向上に繋げる必要がある。

■ R 7 年度以降の取組み

能力による管理職登用に向け、人材育成を目的とした研修の充実を図り、意欲向上に繋げる。また、超過勤務の減や休暇の取得率向上に取り組むことで、働きやすい職場環境を整える。

成果指標5：パパママ教室に夫婦で参加した割合

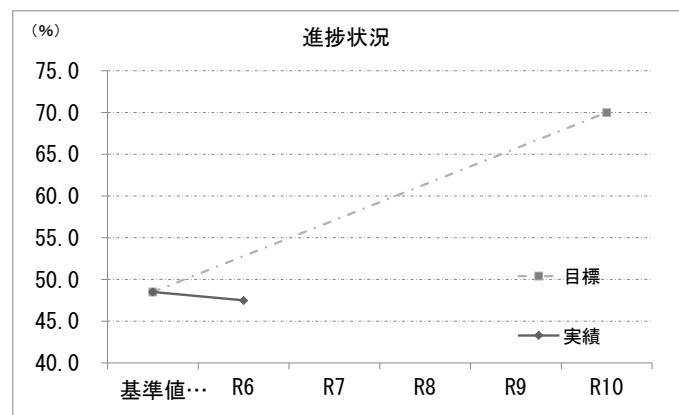
進捗状況：△

担当課：健康スポーツ課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(%)
目標							70
実績	48.5	47.5					
進捗率		-5%					

■ R 6 年度の実施状況

参加率向上のため、1日コースとした。また、母子健康手帳講師時に具体的に説明し、ホームページやすくすく子育て応援アプリ「母子モ」での周知、参加勧奨を実施した。
予約締切を「1週間前」から「3日前」までとした。



■課題

R6年度はママのみの参加者が多かったため、パパが参加しやすいよう、日程を午前・午後に分けて受講できること等を伝えていく必要がある。

■ R 7 年度以降の取組み

ニーズに合わせたカリキュラム、アンケートの見直しを行う。
母子健康手帳交付時のチラシ配布、ホームページやすくすく子育て応援アプリ「母子モ」等を活用した参加勧奨。
申し込み方法を拡大（電話、アプリ等でのオンライン予約等）していく。

成果指標6：遊びと学びの交流施設「くるんと」子育て世代活動支援センター利用者【見直し】

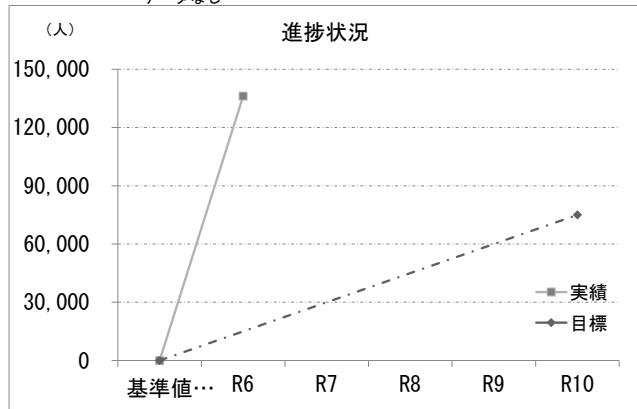
進捗状況：◎

担当課：子育て推進課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(人)
目標							75,000
実績		136,184					
進捗率	データなし	182%					

■ R6年度の実施状況

開設前に設定した目標値を大幅に超える利用があり、特にあそびばについては、13万人を超えるなど、村山地域を中心とした市外の方にも数多く利用いただいた。



■課題

令和5年9月にオープンしてから順調な利用者数を確保しているが、県内に同様の屋内遊戯施設が続々と開設されており、また、施設も経年劣化していくことから、しっかりした管理と、利用者ニーズを把握した運営が必要。

成果指標7：子育てアプリ登録者数

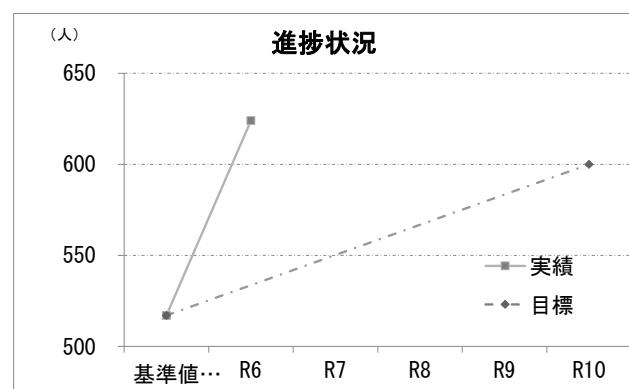
進捗状況：○

担当課：子育て推進課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(人)
目標							600
実績	517	624					
進捗率		129%					

■ R6年度の実施状況

従来の情報発信に加え、各種感染症に関する情報など、きめ細やか、かつ、保護者の不安感を取り除くことができるよう各種情報発信を行った。また、予約オプションを追加し、各種教室や相談の予約をとることができるものなど、利用者の利便性の向上を図って来たこともあり、登録者数は増加している。



■課題

利便性の向上により登録者数は増加しているが、少子化が加速していることから、今後、登録者数が減少するおそれもあり、さらなる登録者数増加のために、アプリの認知度を高めるとともに、こまめな情報配信を継続的に行う必要がある。

■ R7年度以降の取組み

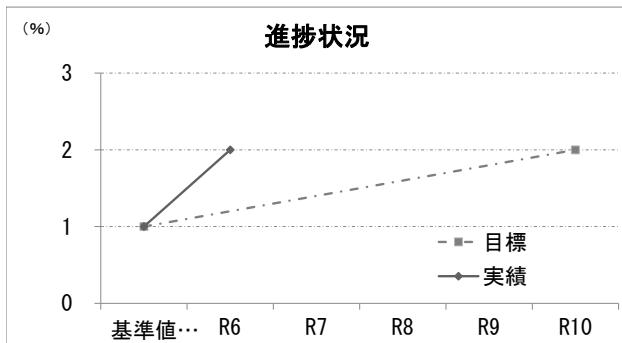
子育てに関する定期的な情報配信を行うとともに、コロナ後の各種情報提供など、より魅力的な情報発信を心掛け、健診等でのPRにさらに力を入れる。

成果指標8：小中学校に向けた男女共同参画に関する啓発活動の実施回数

進捗状況：◎

担当課：地域づくり推進課、学校教育課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(回)
目標							2
実績	1	2					
進捗率		100%					

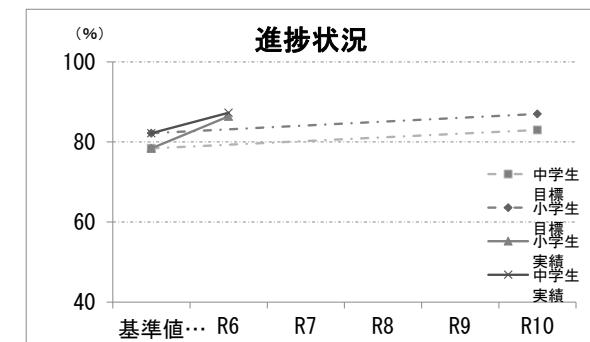


成果指標9：自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う子どもの割合（全国学調）【新規】

進捗状況：◎

担当課：健康スポーツ課・市民課

	基準値 (R5)	R6	R7	R8	R9	R10	
小学生 目標							83
中学生 目標							87
小学生実績	78.4	86					
中学生実績	82.2	87.3					
小学生進捗率		174%					
中学生進捗率		106%					



■ R6年度の実施状況

長井南中学校、長井北中学校の2校において男女共同参画に関する人権教室を開催。ワークショップと講話でLGBTQ等多様性に関して、生徒に考えてもらう機会を設けた。あわせて長井市第三次男女共同参画基本計画にも触れ、長井市の男女共同参画に係る現状や目標について講話を行った。

■課題

人権教室自体は小・中学校で実施しているものの、男女共同参画に関するテーマは中学校のみであるため、小学校での啓発が課題。

■ R7年度以降の取組み

令和6年度から中学校における制服の選択制導入が開始されたことを踏まえ、引き続き人権教室や講話を実施し、多様性の理解につながる学習機会を充実させていく。

■ R6年度の実施状況

小中学校では学校生活全体を通して、児童生徒が互いの良さや違い（性差等）を認め合う活動を取り入れている。授業においても、道徳や他の教科で自分の意見だけではなく、相手の意見を聞いて考えを深める時間を設けている。

■課題

SNS等のメディアからの情報に影響を受けやすい年代であるため、様々な情報の中から主体的に選択し、判断できる力、相手を思いやる力などを継続的に育てていく必要がある。

■ R7年度以降の取組み

小中学校で、各教科や健康教育、情報モラル教育を通して、多様な価値観や互いの個性を認め合う活動を実施していく。

成果指標10：困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる子どもの割合（全国学調）【新規】

進捗状況：△

(回)

	基準値 (R5)	R6	R7	R8	R9	R10
小学生目標						80
中学生目標						80
小学生実績	69.3	70.6				
中学生実績	68.1	66.2				
小学生進捗率		12%				
中学生進捗率		-16%				

担当課：地域づくり推進課、学校教育課

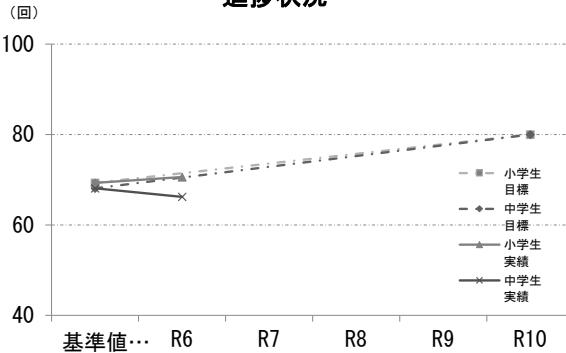
■ R6年度の実施状況

小中学生がSNS等を通じてトラブルに巻き込まれるケースもある中で、教育相談員やスクールカウンセラーの活用により相談体制の充実を図っている。また、保護者とともにネットトラブル防止教室を開催するなど、家庭と共に課題意識を高めることで、子供自身がSOSを発信しやすい環境づくりを実施している。

■課題

児童生徒の健全な成長のためには、学校・家庭に加えて、地域の関わりも重要である。指標では捉えきれないと、地域の大人も巻き込んだ相談体制づくりが求められる。

進捗状況



成果指標11：やまがたスマイル企業認定数 【見直し】

進捗状況：◎

(社)

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10
目標						10
実績		10				
進捗率	データなし	100%				

担当課：地域づくり推進課・商工振興課

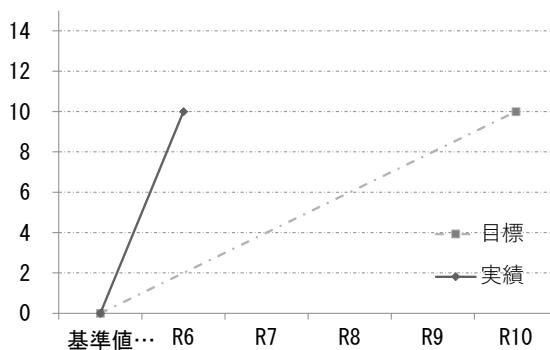
■ R6年度の実施状況

市報・HPでの広報やチラシの配付等を通じて制度の周知と認定企業の増加を図っており、令和6年度には新たに7社が認定され、現在、市内における認定企業は10社になっている。

■課題

企業に対する働きかけが弱く、制度の認知度向上のための方策の検討が必要である。

進捗状況



■ R7年度以降の取組み

引き続き、制度の周知と認定の促進に取り組むほか、地域企業・団体と連携し、情報発信やだれもが働きやすい職場環境を整備するための取り組みを推進していく。

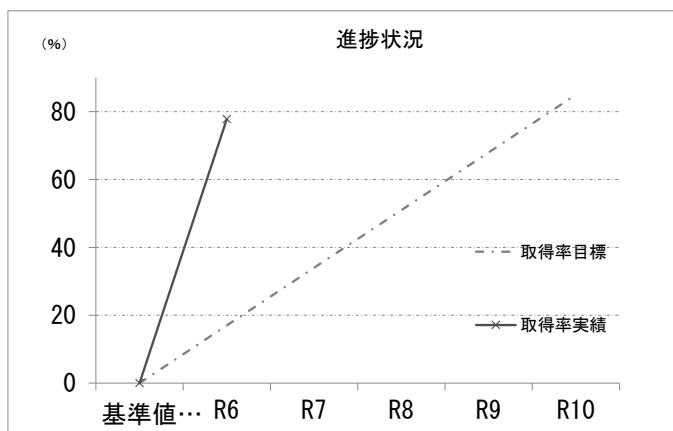
成果指標12：市の男性職員の育児休業取得率（1週間以上）【見直し】

進捗状況：○

担当課：総務課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(%)
目標							85
実績		77.8					
取得人数		7					
取得対象人数		9					
進捗率		92%					

データなし



■ R6年度の実施状況

所属長を通じた職員への制度周知を行い、各職場で業務調整等を行うことにより取得率の増を図ったが、目標値には至らなかった。

■課題

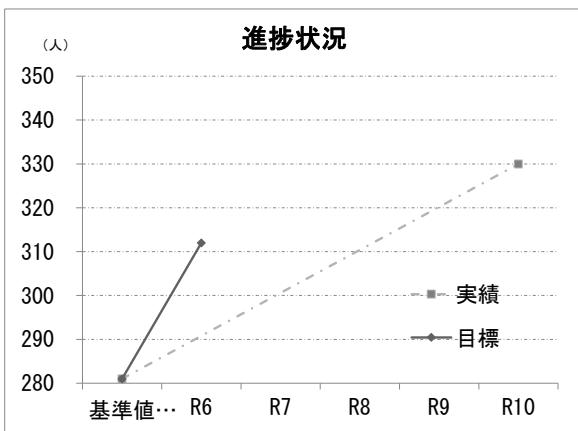
対象職員が各休暇制度の理解度を深められる周知方法について再度検討し、それぞれの休暇を有効活用できるよう、所属課において取得しやすい雰囲気づくりが必要。

成果指標13：病児保育登録者数【見直し】

進捗状況：○

担当課：子育て推進課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(人)
目標							330
実績	281	312					
進捗率		63%					



■ R6年度の実施状況

従来から行ってきた各種検診時や子育て関連施設でのPR、ホームページを活用した周知広報に加え、令和6年度からは近隣自治体の保育施設へ訪問も実施し、広く情報提供を行い、一定の利用者を確保した。

■課題

少子化により、当市はもちろん近隣市町でも子どもの数が減少している。また、新型コロナウイルス感染症の予防のために行われた各種対策により、一般的な感染症や疾病の発生も抑制されており、利用者の少ない状況が続いている。

■ R7年度以降の取組み

病児が減少していること自体は好ましい状況ではあるが、今後、その保育が必要となった場合に、速やかな対応ができるよう、なお一層の周知広報を行い、更なる認知度を高めるとともに、一人でも多くの登録を募る。

成果指標14：市内コミュニティセンター事業への参加人数 【新規】

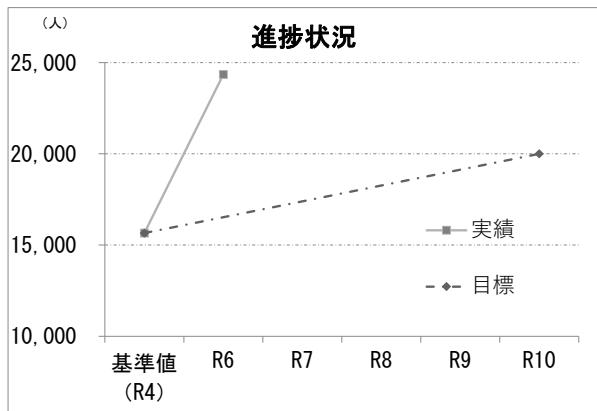
進捗状況：◎

担当課：地域づくり推進課・長井市コミュニティ協議会

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(人)
目標							20,000
実績	15,658	24,352					
進捗率		200%					

■ R6年度の実施状況

多様な事業を展開することで誰もが参加したい、足を運びたいコミュニティセンターを目指した。地域住民が参加する會議では、資料の事前配布や発言しやすい環境づくりを行いスムーズな運営に努めた。



■ 課題

事業によっては男女比に偏りがみられ、特に男性は各種會議でしか、コミュニティセンターを訪れる機会がないこともあるため、より魅力的な事業展開が必要である。

■ R7年度以降の取組み

各コミュニティセンターにおいてアンケート調査などを通じて地域住民のニーズを把握し、それに基づいた関心度の高い事業の企画・実施を進めていく。また、運営協議会委員や部会員等には引き続き積極的に女性を登用して、女性の意見を取り入れた事業展開を図る。

成果指標15：女性消防団員の所属人数

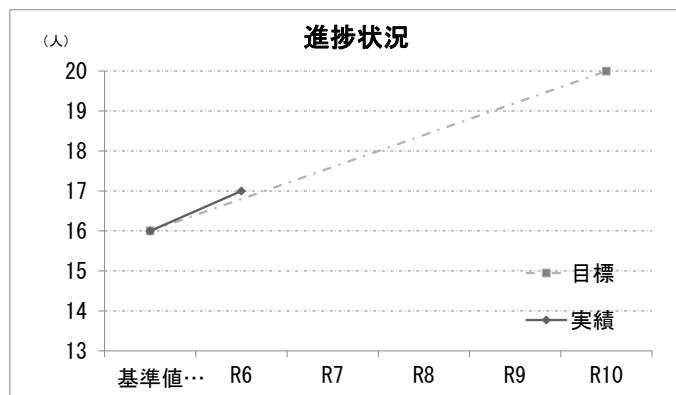
進捗状況：○

担当課：防災危機管理課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(人)
目標							20
実績	16	17					
進捗率		25%					

■ R6年度の実施状況

長井市消防演習、長井市消防出初式等の消防団行事への参加、山形県・長井市総合合同防災訓練時の啓蒙活動（防火紙芝居、防災クイズ等）の実施。



■ 課題

女性消防団員のみならず、消防団員自体の人員が減少傾向にあるため、入団促進のPR活動を行っていく必要がある。

■ R7年度以降の取組み

長井市消防演習、長井市消防出初式等の消防団行事への参加の促進、各種イベント等における啓蒙活動（防火紙芝居、防災クイズ等）の実施。住宅用火災警報器設置推進PR活動の実施。

成果指標16：特定健康診査の受診率（国民健康保険）

進捗状況：△

担当課：健康スポーツ課・市民課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(%)
目標							59
実績	52.4	49.9					
進捗率		-38%					

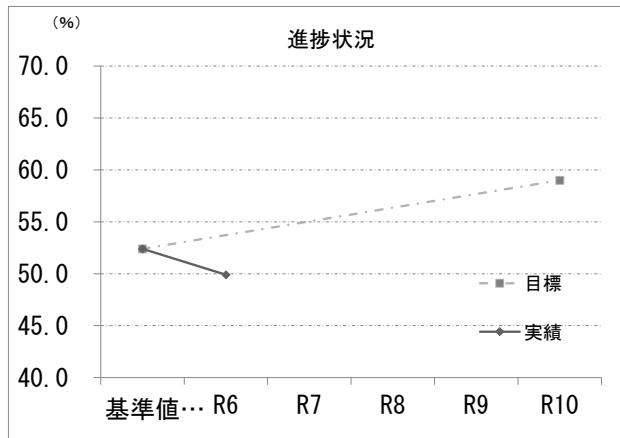
■ R6年度の実施状況

令和6年度は健診の意向調査方法（世帯申し込みから個別のハガキでの申し込み）へ変更に伴い、申込数が激減した。申し込み方法が分からず申し込みがなかった可能性の高い連続受診が途切れた方へ分かりやすい勧奨をした。また、一括勧奨ではなく、各地区の日程に合わせた勧奨方法へ変更し、申込へのアプローチを工夫した。

結果的には受診率は約2.5ポイント低下した。

■課題

受診率の低下は大きな課題である。70代以上の対象者数は全体の46.2%を占めており、この世代が後期高齢者医療保険へ移行していくことで受診率に与える影響は大きい。今後団塊世代が後期高齢者医療保険へ移行していくため、受診率が低下していくことが考えられる。



■R7年度以降の取組み

各地区コミュニティセンター・商工会議所・農業委員会などと連携し、今までのルートとは異なる勧奨方法を行う。令和6年度から意向調査の変更に伴い、申し込み忘れや世帯内の強制力が働かなくなつたことへのアプローチをしていく必要がある。今後特定健診の医療機関みなし受診を県単位で実施していく予定。

成果指標17：認知症サポーター養成講座における男性の割合【新規】

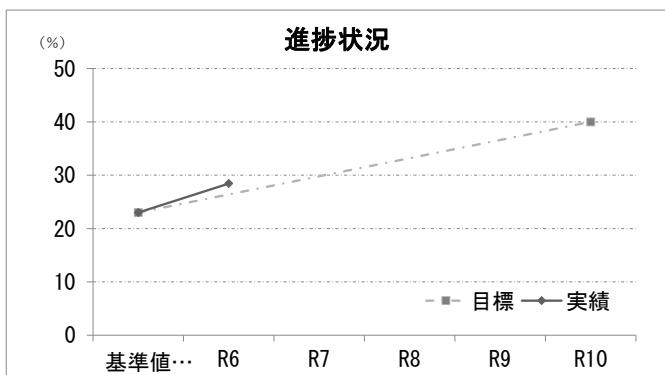
進捗状況：○

担当課：福祉あんしん課

	基準値 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	(%)
目標							40
実績	23	28.4					
進捗率		32%					

■R6年度の実施状況

出前講座や市民向けの講座として7回実施し、受講者102人中、男性は29人である。



■課題

受講者は、女性の割合が高いが、認知症の対応について男性からの相談もある。幅広い年代が受講し、認知症について理解を深め、共生社会の実現を進めていく事が求められている。

■R7年度以降の取組み

出前講座、市民向け講座を開催する。認知症は誰でも発症しうる可能性があることを啓発し、男性受講者の増加につなげる。

参考指標（現状把握）：地域活動における女性活躍の推進

※地域での女性活躍を推進するという視点で追加したもの。

市が主導で推進することが難しい分野であるため、目標達成を目指すというよりは『現状の周知と活躍社会への意識化』という意味で設定し、毎年最新データを公表する。

本指標は地域での意識啓発など全体的な取り組みを通じて、最終的に基準値よりも『女性の割合が増加』するとともに他の数値指標の向上に繋げることを目的とする。

指標名	基準値 (R 4)	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
①各地区的コミュニティセンター運営協議会委員の女性の割合	17.8% (24人/135人)	16% (25人/156人)				
②地区長の女性の割合	0.79% (1人/137人)	0.7% (1人/137人)				
③市内小中学校のPTA会長（会長、副会長）の女性の割合【見直し】	25% (8人/32人)	21.2% (7人/33人)				
④市議会議員における女性の割合【見直し】	12.5% (2人/16人)	12.5% (2人/16人)				

5 総評

令和6年度は第三次男女共同参画基本計画のスタートの年として、施策の推進に取り組んでまいりました。成果指標についても一部見直しや追記を行い、17の成果指標を設定し、分野横断的に取り組んできました。新規で追加した指標を含め、令和10年度の目標値に向けて順調に推移している施策が半数以上あり、おおむね着実に計画を実行できたといえます。引き続き、啓発や市施策を充実させることで男女共同参画に関する意識の醸成を図っていきます。

「成果指標1：男女共同参画に係る講座・イベント・パネル展の実施（広域連携含む）」について、令和6年度はパネル展を図書館にて、6月、11月の2回実施しました。子ども向け絵本から大人向けの関連図書までを幅広く展示し、施設を利用する子育て世代を中心とした多くの市民に来場いただきました。また、市内中学校での人権教室において、男女共同参画に係る市の取組や第三次男女共同参画基本計画について説明を行い、計画の周知に努めました。今後も図書館や学校、コミュニティセンター等、各施設・機関と連携しながら、男女共同参画社会の重要性が市民に伝わるような講座やイベントの企画・開催に取り組んで参ります。

「成果指標3：審議会等における女性委員の割合」については、目標値を50%と上方修正したところですが、対象審議会の休止等により令和6年度は30.5%となり、昨年度より0.1%減少しましたが、調査対象としたすべての審議会等において女性委員が選定されている状態は継続しています。引き続き、市の施策等に反映される意見に性別による意見の偏りが出ないよう、各審議会所管課において委員選出の際は男女のバランスに配慮するよう呼びかけを実施して参ります。

「成果指標10：やまがたスマイル企業認定数」は、令和5年10月より、「ワーク・ライフ・バランス」や「女性活躍」の推進に取り組んでいる企業等を県が認定する制度「やまがたスマイル企業認定制度」が開始したことを受け、新しく設定した成果指標です。市報、HPでの広報、チラシの配布を行い、長井市内における認定企業は令和6年度時点で10社となっています。順調に認定企業は増加しているものの、企業への働きかけは十分とは言えない状況です。商工会議所等と連携し、制度の周知と認定の促進に取り組んでいきます。

今後も各担当課で事業の実施内容や方法の改善を図るとともに、男女共同参画の視点を意識して事業を展開していくことで、第三次男女共同参画基本計画の基本目標「誰もが個性と能力を発揮できるまち」の実現を目指していきます。